

2024年3月21日 全8頁

## Indicators Update

# 2024年2月貿易統計

価格転嫁が一段と進み輸出金額は3カ月連続で増加

経済調査部 エコノミスト 岸川 和馬

### [要約]

- 2024年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+7.8%と3カ月連続で増加した。価格転嫁の一段の進展で輸出価格が高い伸びとなったほか、春節の影響で営業日数が少なかったにもかかわらず、中国への輸出が底堅かったことが背景にある。他方、季節調整値で見れば前月比▲1.5%と2カ月連続で減少した。輸出の実勢を示す輸出数量の減少が主因であり、外需の動向は軟調と評価できる。輸入金額は前年比+0.5%と11カ月ぶりに増加した一方、季節調整値では前月比+3.8%となった。これを受け、貿易収支は▲3,794億円と2カ月連続の赤字、季節調整値では▲4,516億円と2カ月ぶりの赤字となった。
- 2月の輸出数量（大和総研による季節調整値）は前月比▲4.5%と2カ月連続で減少した。このところ輸出数量を下支えしていた半導体等製造装置が減少に転じた。主力の自動車は増加したが、水準で見れば2023年の月平均を下回っており、挽回輸出の息切れ感が強まっている。地域別に見ると、米国向け（同+3.0%）やEU向け（同+4.2%）が増加に転じた一方、アジア向け（同▲10.0%）は中国向け（同▲8.6%）の減少を主因に大幅なマイナスとなった。
- 先行きの輸出数量は横ばい圏で推移した後、年後半にかけて増加基調に転じるとみている。1月の世界半導体販売額（3カ月移動平均）は前年比+15.2%と、シリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復局面入りが見られる。当面は半導体関連財の輸出が増加し、自動車の挽回輸出の加速の一服や米欧での景気減速の影響を相殺するとみている。

## 【貿易金額】春節の影響の下でも中国向け輸出金額は増加を維持

2024年2月の貿易統計によると、輸出金額は前年比+7.8%と3カ月連続で増加し、コンセンサス（同+5.1%、Bloomberg 調査）を上回った（**図表 1**）。企業による価格転嫁が一段と進んだことで輸出価格が高い伸びとなった。春節の影響で2月の中国の営業日数が前年比2割程度少なかったにもかかわらず、中国向け輸出（同+2.5%）が増加を維持したことも寄与した。ただし、後述するように中国向けの輸出数量は低調であり、あくまでも価格上昇を要因に輸出金額が増加した点には注意が必要だ。

輸出金額全体の季節調整値は前月比▲1.5%と2カ月連続で減少した。輸出数量（大和総研による季節調整値、以下同）は同▲4.5%と、中国向けを中心としたアジア向けの回復の遅れを主に低調となった（**図表 2 左**）。足元では価格転嫁の進展により輸出金額が上振れしているが、輸出の実勢を示す輸出数量が低迷していることから、外需全体の動向は軟調と評価できよう。

輸入金額は前年比+0.5%と11カ月ぶりに増加した。品目別では衣類・同付属品（同+27.5%）や電算機類（含周辺機器）（同+27.8%）のほか、原油高の進行もあって石油製品（同+25.7%）が押し上げ要因となった。他方、石炭（同▲39.6%）や液化天然ガス（同▲21.1%）などは減少した。輸入金額全体の季節調整値は前月比+3.8%と、輸入数量の反動増により2カ月ぶりに増加した。

以上を受け、貿易収支は▲3,794億円と2カ月連続の赤字、季節調整値では▲4,516億円と2カ月ぶりの赤字となった（**図表 3**）。円安の継続もあって、2023年10月以降、均して見れば貿易収支（季節調整値）は▲3,000億円前後の赤字で推移している。

図表 1：貿易統計の概況

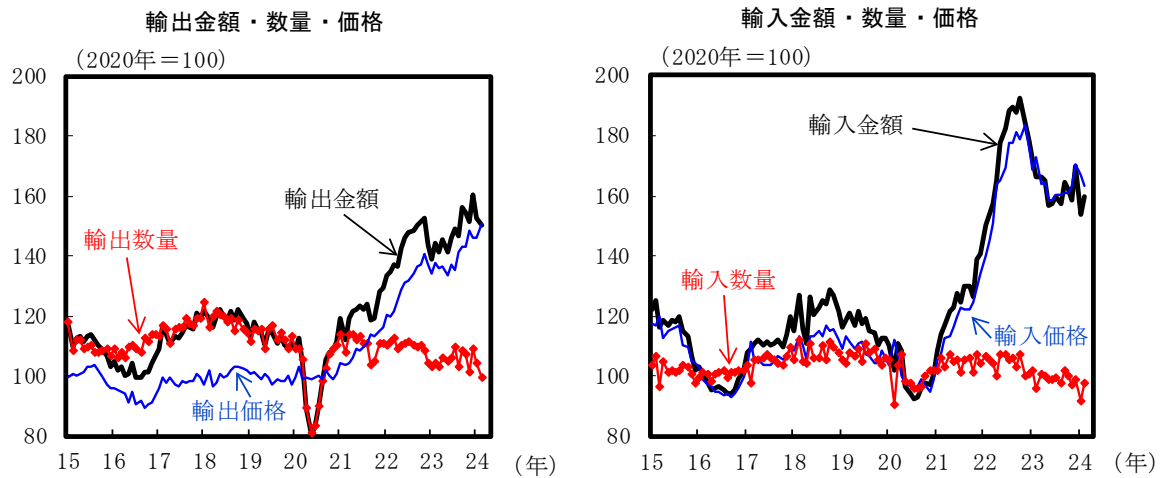
		2023年								2024年	
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
原系列 前年比 %	輸出金額	1.5	▲0.3	▲0.8	4.3	1.6	▲0.2	9.7	11.9	7.8	
	コンセンサス									5.1	
	DIRエコノミスト予想									0.8	
	輸入金額	▲13.1	▲14.1	▲17.7	▲16.5	▲12.4	▲11.8	▲6.8	▲9.8	0.5	
	輸出数量	▲4.0	▲2.8	▲5.3	0.2	▲3.4	▲5.6	2.9	2.3	▲1.5	
	価格	5.7	2.5	4.8	4.1	5.2	5.8	6.6	9.4	9.5	
	輸入数量	▲7.4	▲6.1	▲9.1	▲3.9	▲3.2	▲3.4	▲3.1	▲8.4	1.5	
価格	▲6.1	▲8.5	▲9.5	▲13.1	▲9.5	▲8.8	▲3.8	▲1.5	▲0.9		
	貿易収支(億円)	365	▲613	▲9,401	606	▲6,682	▲7,883	589	▲17,603	▲3,794	
季節 調整値 前月比 %	輸出金額	3.5	2.2	▲1.6	6.3	▲1.2	▲1.7	5.8	▲4.6	▲1.5	
	数量	1.0	3.5	▲5.9	5.1	▲1.1	▲5.6	7.7	▲4.8	▲4.5	
	価格	2.5	▲1.3	4.6	1.1	▲0.1	4.1	▲1.8	0.1	3.1	
	輸入金額	0.1	1.8	▲1.7	4.7	▲1.4	▲2.1	6.9	▲9.3	3.8	
	数量	0.2	0.4	▲1.7	4.5	▲1.6	▲3.4	2.3	▲7.5	6.3	
	価格	▲0.1	1.4	0.0	0.1	0.1	1.3	4.5	▲2.0	▲2.4	
		貿易収支(億円)	▲5,623	▲5,412	▲5,229	▲4,111	▲3,799	▲3,387	▲4,579	126	▲4,516
	税関長公示レート	139.24	142.32	142.23	146.44	148.88	150.34	146.92	143.95	148.18	

(注1) 税関長公示レートは円/ドルレート。コンセンサスはBloomberg。

(注2) 数量と価格の季節調整値は大和総研による。

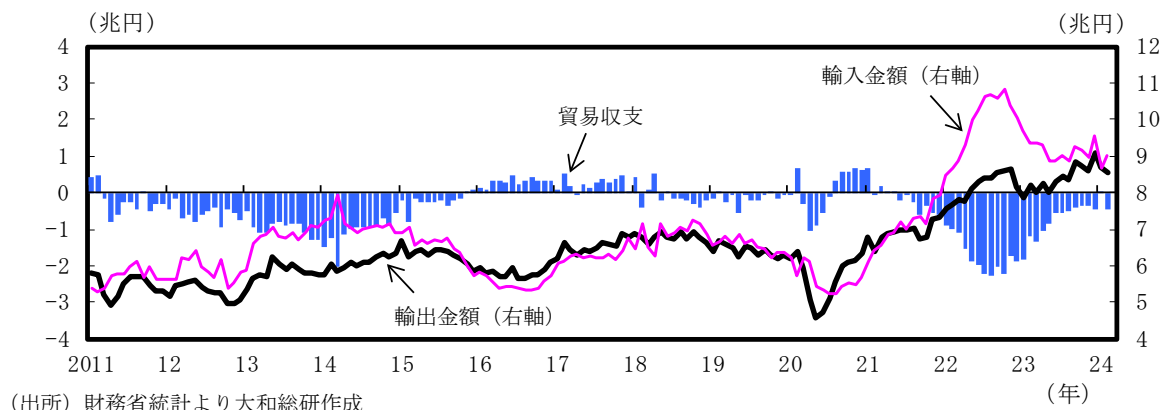
(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

図表 2 : 輸出金額・数量・価格、輸入金額・数量・価格 (季節調整値)



(注) 輸出数量、輸入数量、輸出価格、輸入価格の季節調整は大和総研。  
 (出所) 財務省統計より大和総研作成

図表 3 : 輸出、輸入、貿易収支 (季節調整値)



(出所) 財務省統計より大和総研作成

## 【輸出数量】米国向け自動車の挽回輸出に息切れの兆し

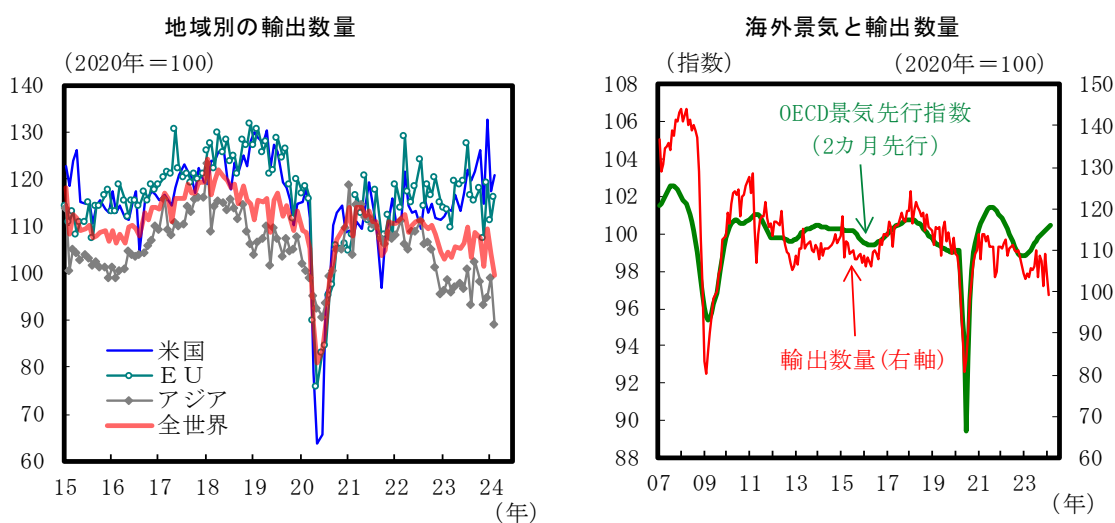
2月の輸出数量は前月比▲4.5%と2カ月連続で減少した。このところ輸出数量を下支えしていた半導体等製造装置が減少に転じたことが主因だ。主力の自動車は増加したが、水準で見れば2023年の月平均を下回っており、とりわけ米国向けを中心に挽回輸出の息切れ感が強まっている。地域別に見ると、米国向け（同+3.0%）やEU向け（同+4.2%）が増加に転じた一方、アジア向け（同▲10.0%）は中国向け（同▲8.6%）の減少もあって大幅なマイナスとなった。

米国向けは2カ月ぶりに増加した。自動車が全体をけん引したほか、振れの大きい医薬品も押し上げ要因となった。ただし、自動車輸出の水準は2023年の月平均を6%程度下回っており、半導体不足の解消などによる挽回輸出に一服の兆しが見られる。その他の品目では、原動機や自動車の部分品といった自動車関連財が減少したほか、半導体等製造装置、電算機類の部分品、鉄鋼などが全体を下押しした。

EU向けは2カ月ぶりに増加した。自動車輸出が2カ月連続で増加したほか、前月に急減した二輪自動車で反動増が見られた。また、医薬品や非鉄金属、原動機なども小幅に増加した。他方、振れの大きい鉄鋼やバス・トラックなどは減少に転じた。なおEU向け輸出に占める割合が高い一般機械のうち、主力品目の半導体等製造装置は2023年11月頃から低水準にある。後述するように域内の製造業の業況が明るくないことから、機械設備の需要が弱含んでいるとみられる。

アジア向けは3カ月ぶりに減少した。半導体等製造装置、鉄鋼、自動車の部分品などが減少した。とりわけ中国向け半導体等製造装置が4カ月ぶりに減少し、全体を大きく押し下げた。他方、集積回路（IC）や船舶などは増加した。船舶では、ASEAN向けの大型案件とみられる上振れが発生した。

図表4：地域別の輸出数量、海外景気と輸出数量（季節調整値）



(注1) OECD景気先行指数（CLI）はG20ベース。  
 (注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。  
 (出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

## 【見通し】シリコンサイクルの回復局面入りが輸出数量を下支えか

先行きの輸出数量は横ばい圏で推移した後、年後半にかけて増加基調に転じるとみている。当面はシリコンサイクル（世界半導体市場に見られる循環）の回復局面入りによる半導体関連財の輸出増が下支え要因となろう。WSTS（世界半導体市場統計）によれば、1月の世界半導体販売額（3カ月移動平均）は前年比+15.2%と大幅なプラスとなった。後述するように中国向け半導体関連財の輸出が減少するリスクはあるものの、自動車の挽回輸出の加速の一服や米欧での景気減速による輸出への下押し圧力を相殺する見込みだ。

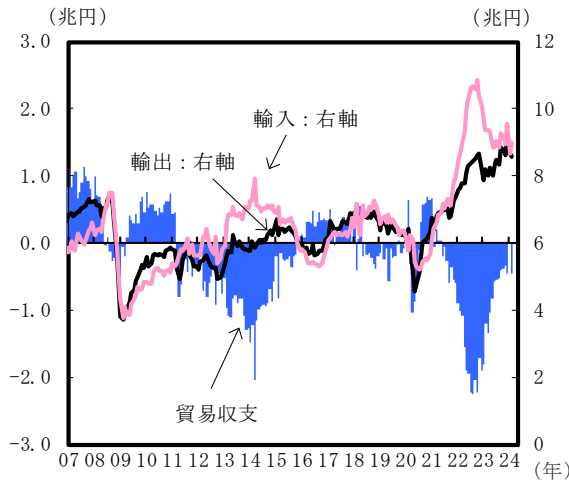
輸出の先行きを地域別に見ると、米国向けは横ばい圏で推移するとみている。米国では緩やかなインフレ鈍化と景気減速が継続することで、日本からの輸出が伸び悩むだろう。FRBは2024年央を目途に利下げサイクルを開始するとみているが、利下げによる景気浮揚効果の発現にはタイムラグを伴う傾向があるため、早期の利下げが実現しても急速な景気回復は期待しにくい。

欧州向けは、域内経済の弱さを背景に緩やかな減少基調が継続するとみている。ユーロ圏では直近の2023年10-12月期の実質GDPが2四半期連続のマイナス成長（テクニカル・リセッション）を回避し、個人消費には持ち直しの兆しが見られるが、景気の停滞感は継続している。とりわけ製造業では、設備稼働率が22年1-3月期の82.8%をピークに低下し続けており、24年1-3月期には79.2%まで落ち込んだ。稼働率の低迷により、日本からの輸出の主力品目である資本財や中間財の需要が押し下げられる可能性が高い。

中国向けは緩やかな回復が続くとみている。中国では、3月5日に開幕した全国人民代表大会（全人代）において2024年の実質成長率目標が前年比+5%前後とされた。同年内に1兆元発行される超長期特別国債などが目標達成を後押しする見込みだ。不動産市況の先行きには引き続き注意が必要だが、拡張的な財政政策と金融緩和策の下で安定的に需要の回復が進むことで、日本からの輸出も増加しやすくなるとみている。ただし一部報道によれば、米国が日本やオランダなど半導体関連財で高い世界シェアを持つ国に対し、対中輸出管理規制の一段の強化を求めたという。日本がこれに応じれば、中国の景気動向にかかわらず輸出額が一定程度減少するリスクがある。

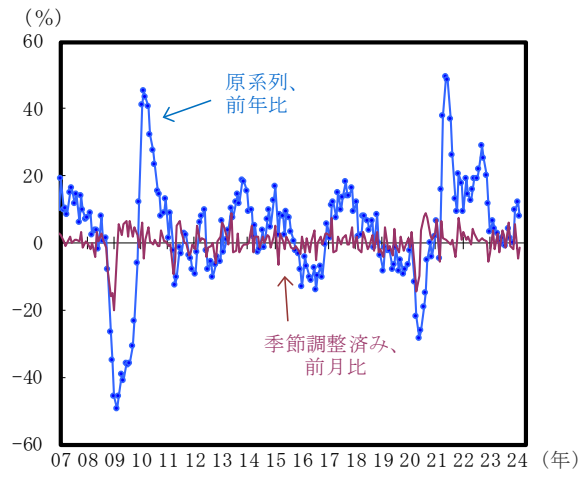
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

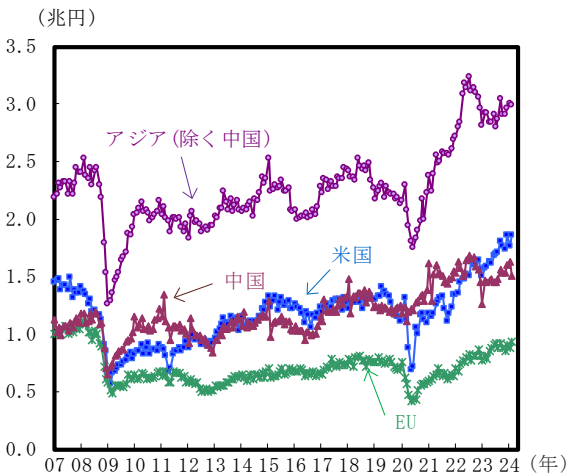


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

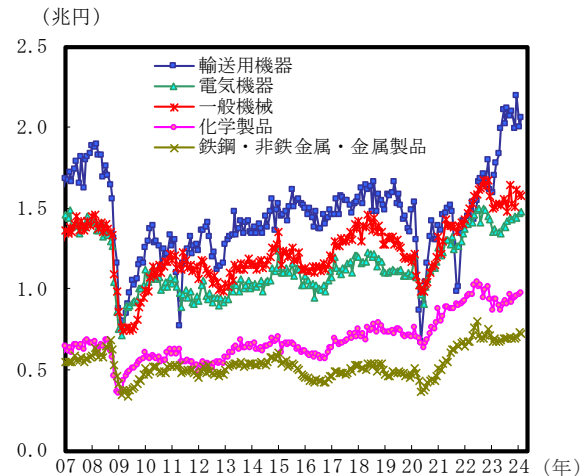


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

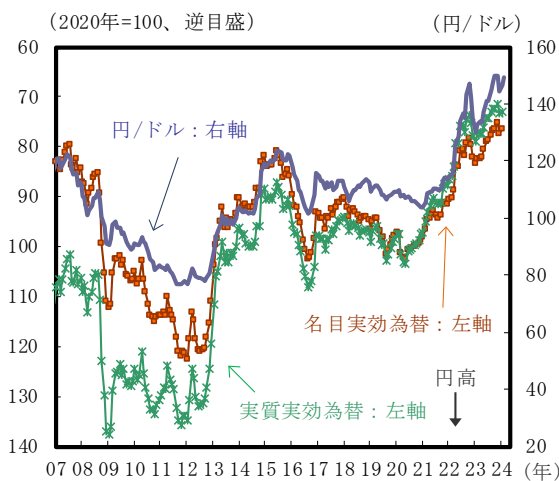


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

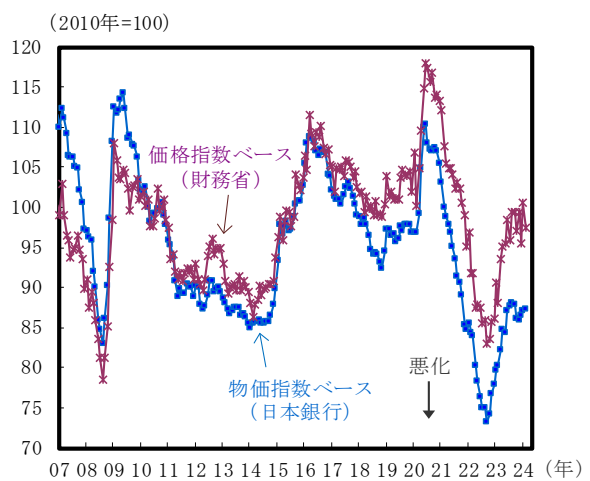


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。輸出入価格指数の直近値は大和総研による試算値。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.3	1.6	▲0.2	9.7	11.9	7.8	100.0	7.8
食料品	▲4.1	▲12.6	▲12.8	▲5.8	14.3	▲5.6	1.0	▲0.1
原料品	7.9	8.6	5.5	27.0	18.5	21.8	1.8	0.3
鉱物性燃料	▲22.7	▲12.6	▲2.0	▲21.6	▲32.6	▲35.2	1.3	▲0.8
化学製品	1.8	▲7.9	▲6.6	1.8	11.2	4.3	11.3	0.5
原料別製品	2.2	▲3.0	▲6.1	▲0.3	8.2	4.6	11.4	0.5
鉄鋼	▲1.1	▲3.1	▲11.6	▲6.4	7.2	▲0.1	4.3	▲0.0
非鉄金属	2.9	▲6.0	▲7.7	0.3	7.6	7.1	2.5	0.2
金属製品	0.7	1.6	3.5	6.8	10.3	9.9	1.4	0.1
一般機械	▲1.4	▲6.4	▲10.2	2.0	5.2	3.7	18.2	0.7
電気機器	▲4.0	▲3.9	▲0.4	1.2	7.6	7.7	16.3	1.3
半導体等電子部品	▲7.9	▲3.3	6.9	0.7	8.3	6.4	5.3	0.3
I C	▲9.8	1.8	13.7	5.6	11.4	10.6	3.9	0.4
映像機器	▲13.2	1.0	▲11.8	▲3.6	20.8			
映像記録・再生機器	2.8	9.3	▲5.3	3.3	12.3	20.8	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲10.0	▲9.6	▲4.7	▲2.7	3.9	▲1.1	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲7.7	▲12.9	▲12.4	▲6.9	▲4.4	▲1.0	2.0	▲0.0
輸送用機器	21.2	27.5	11.3	36.6	24.1	20.1	23.2	4.2
自動車	26.9	35.4	16.3	35.9	31.6	19.8	16.8	3.0
自動車の部分品	12.0	5.3	9.8	13.6	22.1	22.6	3.9	0.8
その他	6.6	▲2.3	5.2	11.4	20.3	7.0	15.5	1.1
科学光学機器	0.7	▲15.3	▲3.3	7.4	15.6	9.5	2.5	0.2

米国向け輸出金額 内訳								
	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.0	8.5	5.3	20.2	15.6	18.4	100.0	18.4
食料品	49.4	22.4	33.6	22.7	8.7	31.2	1.0	0.3
原料品	19.8	▲46.3	▲30.0	▲17.3	▲14.4	▲15.3	0.4	▲0.1
鉱物性燃料	▲68.2	▲80.1	▲15.9	19.1	51.2	▲87.6	0.1	▲0.7
化学製品	12.8	▲16.7	▲6.8	22.5	22.3	7.1	7.6	0.6
原料別製品	12.1	8.0	▲1.6	▲0.2	▲1.4	7.7	6.4	0.5
鉄鋼	1.8	▲1.5	▲29.3	▲8.5	▲7.7	▲5.6	1.4	▲0.1
非鉄金属	25.8	17.7	▲6.9	▲22.2	▲29.6	▲10.5	0.8	▲0.1
金属製品	13.3	23.3	16.2	21.1	6.8	31.7	1.5	0.4
一般機械	6.4	1.3	▲7.2	6.4	5.4	11.2	23.2	2.8
電気機器	3.7	▲0.3	▲1.8	4.3	1.4	15.6	13.2	2.1
半導体等電子部品	▲12.0	▲1.1	▲1.0	0.1	2.5	11.0	1.2	0.1
I C	▲25.9	12.5	10.9	21.5	7.3	26.0	0.6	0.1
映像機器	▲16.7	▲4.2	▲15.9	▲8.6	▲6.5			
映像記録・再生機器	▲9.3	▲2.2	▲3.5	3.8	26.2	31.4	0.5	0.1
音響・映像機器の部分品	▲4.8	60.2	32.4	71.6	57.5	17.2	0.2	0.0
電気回路等の機器	9.7	▲5.1	▲5.2	0.3	3.0	13.2	1.2	0.2
輸送用機器	27.9	33.5	20.4	40.7	36.5	36.9	36.7	11.7
自動車	33.9	37.9	19.0	39.8	32.7	31.8	28.1	8.0
自動車の部分品	2.3	20.1	24.2	35.9	43.6	57.7	6.3	2.7
その他	2.9	▲1.1	8.3	24.3	12.4	9.6	11.5	1.2
科学光学機器	13.2	▲8.3	▲1.9	21.7	5.3	15.0	2.7	0.4

EU向け輸出金額 内訳								
	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	12.9	8.9	▲0.0	10.3	13.8	14.6	100.0	14.6
食料品	▲12.7	▲10.2	2.1	21.7	5.8	12.8	0.7	0.1
原料品	▲20.4	▲8.2	▲0.0	13.4	41.4	30.1	1.1	0.3
鉱物性燃料	▲79.6	▲86.8	▲6.4	▲76.9	95.4	▲50.1	0.0	▲0.1
化学製品	▲0.7	▲10.7	▲5.7	8.7	▲2.7	13.6	11.6	1.6
原料別製品	20.3	▲6.1	▲25.5	▲3.5	▲6.9	7.9	7.8	0.7
鉄鋼	38.5	▲2.5	▲46.3	▲7.8	18.2	▲6.2	2.0	▲0.2
非鉄金属	12.5	3.4	▲27.9	▲23.1	▲53.0	▲8.0	1.0	▲0.1
金属製品	4.6	▲10.8	▲1.3	5.7	9.5	21.9	1.4	0.3
一般機械	6.9	1.1	▲18.6	▲15.6	▲4.7	▲3.8	19.7	▲0.9
電気機器	9.7	▲7.0	▲3.8	4.4	3.1	7.7	15.6	1.3
半導体等電子部品	18.4	▲3.5	11.2	5.1	7.2	▲1.3	2.0	▲0.0
I C	2.5	▲7.1	6.6	▲4.2	▲7.8	▲15.2	0.7	▲0.1
映像機器	2.3	2.9	▲27.2	▲11.6	3.6			
映像記録・再生機器	21.8	20.3	▲20.4	▲9.8	29.5	7.6	0.6	0.1
音響・映像機器の部分品	▲0.1	0.2	▲3.3	▲43.3	5.7	21.1	0.1	0.0
電気回路等の機器	5.1	▲7.4	▲14.2	0.8	▲3.2	▲3.7	1.5	▲0.1
輸送用機器	23.9	56.4	25.4	53.8	59.0	41.1	29.5	9.9
自動車	23.9	84.0	35.8	75.3	83.5	51.3	21.6	8.4
自動車の部分品	35.9	10.6	21.3	56.4	72.4	38.5	4.5	1.4
その他	20.1	▲3.3	3.1	14.6	11.1	12.5	13.9	1.8
科学光学機器	18.3	▲10.3	▲6.5	11.8	18.3	15.2	4.3	0.6

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲4.3	▲5.4	▲4.1	3.0	13.5	2.3	100.0	2.3
食料品	▲14.7	▲21.5	▲21.1	▲13.3	16.0	▲16.0	1.2	▲0.2
原料品	7.8	15.7	8.8	31.5	18.0	21.4	2.9	0.5
鉱物性燃料	▲25.0	▲3.4	26.8	▲14.2	▲34.1	▲20.9	1.6	▲0.4
化学製品	▲0.7	▲2.5	▲6.8	▲2.5	15.1	1.3	15.0	0.2
原料別製品	▲3.3	▲7.0	▲7.3	0.1	12.4	3.7	14.7	0.5
鉄鋼	▲7.2	▲10.6	▲14.4	▲7.3	2.3	0.1	5.7	0.0
非鉄金属	▲1.5	▲5.5	▲2.5	4.1	23.0	7.8	4.2	0.3
金属製品	▲5.7	▲7.5	▲0.7	4.8	20.2	3.2	1.4	0.0
一般機械	▲9.6	▲14.2	▲11.0	5.3	11.5	0.5	17.7	0.1
電気機器	▲9.1	▲5.7	▲0.2	▲0.1	9.8	3.7	20.5	0.7
半導体等電子部品	▲9.1	▲3.1	7.4	0.5	8.7	5.9	9.2	0.5
I C	▲9.7	1.6	14.0	5.2	11.7	10.4	7.2	0.7
映像機器	▲19.7	1.6	▲12.6	▲2.0	27.4			
映像記録・再生機器	▲0.4	18.7	▲4.2	12.3	▲2.6	16.3	0.3	0.0
音響・映像機器の部分品	▲13.1	▲19.7	▲15.5	▲1.8	7.5	▲5.4	0.2	▲0.0
電気回路等の機器	▲12.7	▲16.5	▲14.8	▲9.7	▲6.0	▲5.3	2.7	▲0.2
輸送用機器	5.3	11.1	▲3.5	28.0	23.3	1.9	7.9	0.2
自動車	8.3	30.8	11.3	45.5	53.5	10.3	4.5	0.4
自動車の部分品	9.6	▲9.4	1.0	3.2	2.6	▲0.4	2.4	▲0.0
その他	1.8	▲5.6	▲0.1	2.3	25.2	3.8	18.4	0.7
科学光学機器	▲6.9	▲20.1	▲1.6	1.8	21.4	6.2	2.6	0.2

中国向け輸出金額 内訳								
	2023/09	2023/10	2023/11	2023/12	2024/01	2024/02		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲6.2	▲4.0	▲2.2	9.5	29.2	2.5	100.0	2.5
食料品	▲58.0	▲57.3	▲60.3	▲46.7	▲22.2	▲58.8	0.5	▲0.7
原料品	36.5	25.8	14.0	36.9	47.8	11.7	3.1	0.3
鉱物性燃料	111.7	3.7	87.5	50.6	64.9	▲30.9	0.9	▲0.4
化学製品	1.5	1.8	▲8.2	▲2.2	27.3	▲0.5	18.4	▲0.1
原料別製品	▲11.2	▲8.6	▲3.2	1.4	27.0	▲2.3	11.6	▲0.3
鉄鋼	▲20.2	▲23.3	▲14.5	▲13.1	▲0.6	▲6.5	2.9	▲0.2
非鉄金属	▲8.2	▲0.0	13.5	11.1	51.1	2.6	4.1	0.1
金属製品	▲12.1	▲6.7	▲6.6	2.3	30.8	▲3.2	1.5	▲0.0
一般機械	1.4	4.4	6.1	33.8	34.1	17.4	26.2	4.0
電気機器	▲15.1	▲13.5	▲9.8	▲7.1	9.7	0.0	20.7	0.0
半導体等電子部品	▲22.9	▲23.3	▲15.9	▲22.0	▲6.7	▲4.3	7.1	▲0.3
I C	▲27.2	▲27.8	▲21.9	▲29.2	▲17.2	▲7.0	5.2	▲0.4
映像機器	▲33.0	0.5	▲18.3	▲13.9	24.3			
映像記録・再生機器	▲12.4	55.8	▲16.1	17.6	▲51.2	28.9	0.4	0.1
音響・映像機器の部分品	▲30.8	▲34.3	▲34.0	▲20.8	▲8.7	▲36.2	0.1	▲0.1
電気回路等の機器	▲17.8	▲19.8	▲12.5	▲4.9	▲0.2	▲6.3	3.0	▲0.2
輸送用機器	4.6	14.4	14.2	54.8	80.4	24.4	7.0	1.4
自動車	7.6	31.8	18.2	78.7	111.4	22.5	4.6	0.9
自動車の部分品	▲3.6	▲11.5	6.6	15.4	29.4	22.5	2.0	0.4
その他	▲22.0	▲16.0	▲7.9	▲1.4	39.9	▲12.7	11.6	▲1.7
科学光学機器	▲1.5	▲14.8	▲0.8	8.9	37.0	1.6	3.4	0.1

(注) 小数点の丸め方による影響で公表資料と完全には一致しない項目がある。映像機器は、速報時点では公表されない。

(出所) 財務省統計より大和総研作成